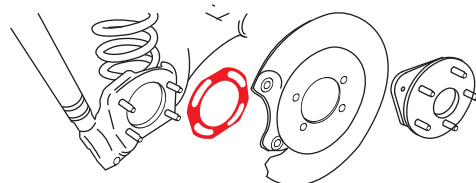


## 日産 ノート NE11の4輪アライメント調整とSPCパーツを取り付け NISSAN NOTE NE11 e-4WD

日産 ノート NE11 e-4WDにSPC71020 リアシムシリーズを取り付け、リアトーを調整します。

今回使用するトーションビーム式リアサスペンション調整用シムなどアライメント調整パーツや工具は【アムテックス オンラインストア】で販売しています。  
<http://www.amtecs.co.jp/shop/>



今回の四輪アライメント測定、調整作業に使用したテストは、John Bean Arago。  
このホイールアライメントテストについてはこちら  
[http://www.amtecs.co.jp/products/john\\_bean/index.html](http://www.amtecs.co.jp/products/john_bean/index.html)

現状を把握するためにアライメントを測定します。



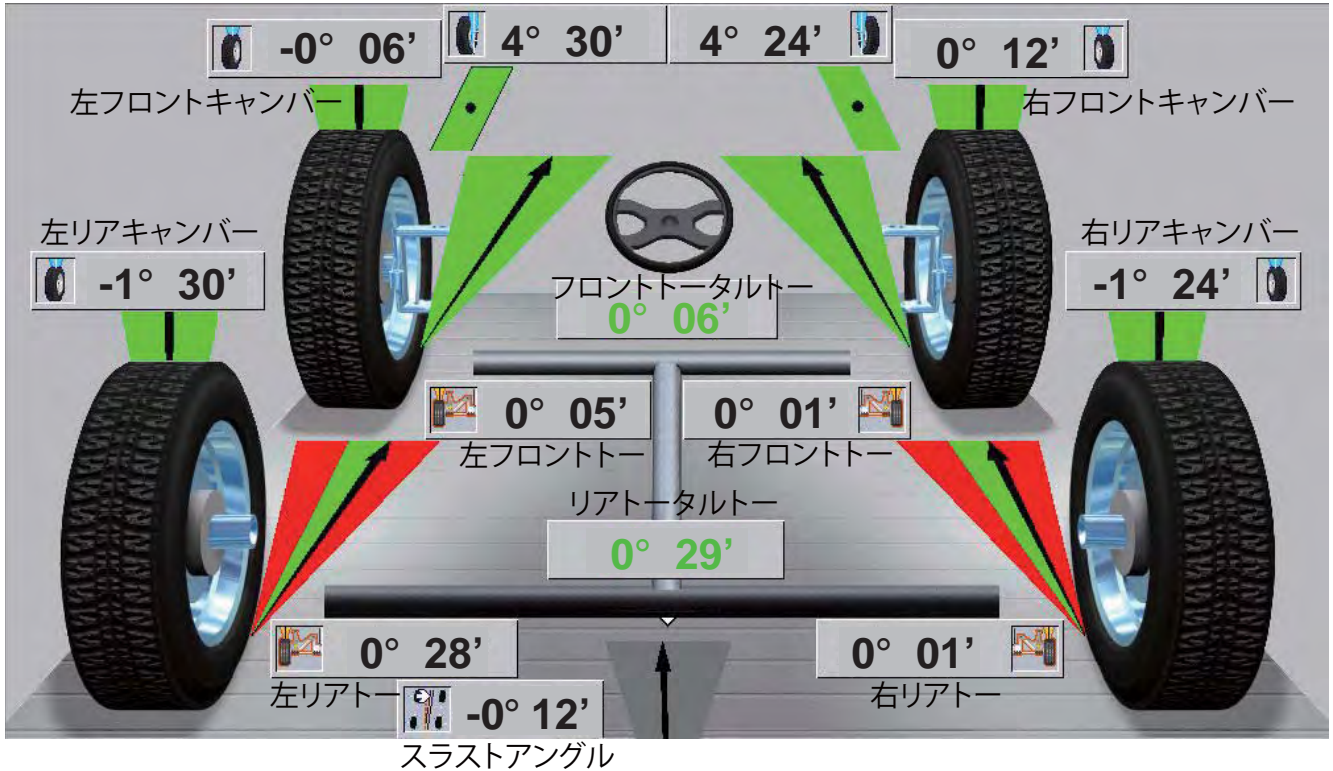
測定結果は次の通りです。



## John Bean V3Dによるノートのホイールアライメント測定結果

リアのトーが左右ともに許容範囲を超え、特に左リアトーが+28'とズレが大きく、このままでは左リアのタイヤが外減りしてしまう可能性があります。(早期タイヤ摩耗)

走行時は、スラストアングルに合わせてハンドルを右に傾ける状態です。



## 取り付けるシムの選択

SPC 71020 リアシムシリーズの取り付けは非常に簡単で、調整したい量(変化量)に近い変化量のシムを選び取り付けるだけです。ハブベアリング径とハブベアリング取付ボルト穴が合えば加工する必要もありません。今回はリアトーのみの調整ですが、シムの取付向きによりキャンバーを変化させることも可能です。



SPC 71020 リアシムシリーズ (部品番号と変化量)

- 71020: ±0.06° (±0°4')
- 71021: ±0.13° (±0°8')
- 71022: ±0.25° (±0°15')
- 71023: ±0.38° (±0°23')
- 71024: ±0.50° (±0°30')
- 71025: ±0.75° (±0°45')

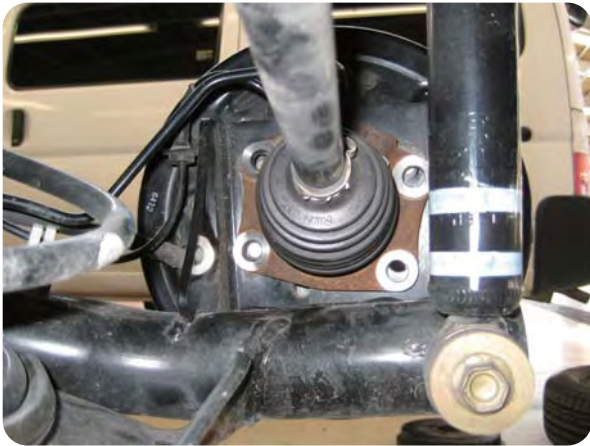


今回は左リアトー+28'を+14'に調整するため、変化量15'の71022を選択し、右リアトー+1'を+14'に調整するためにこちらも変化量15'の71022を選択します。

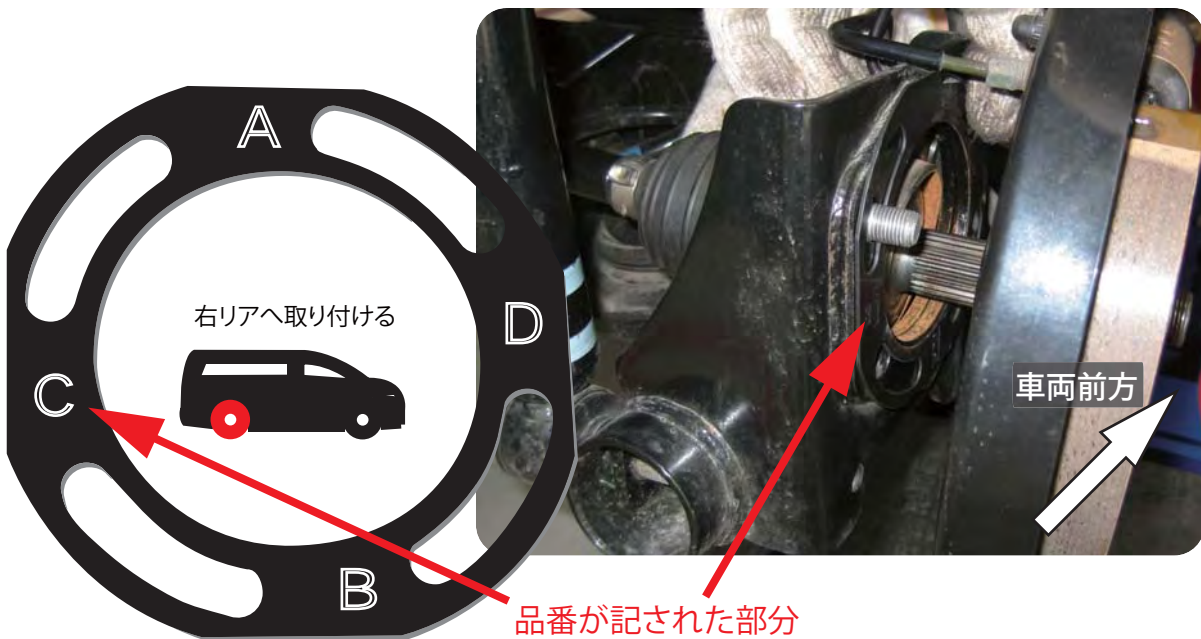


## SPC 71020 リアシムシリーズの取り付け作業

ドライブシャフトをリアサスペンションビームに留めているナットを取り外します。ハブベアリング取付ボルトを外してハブベアリングを取り外します。(写真は右リア)



右リアトーは、現在+1'を+16'を目標に調整するため15'変化する#71022を取り付けます。このシムを品番が記されたシムの最も厚い部分を車両後方に向けてバックプレートの裏に取り付けます。



左リアも同様に取り付けます。左リアトーは+28'から15'トアウトに変化させるために#71022の品番が記された部分を車両前方に向けて取り付けます。ハブベアリング取付ボルト、ナットなどカーメーカー指定トルクに従って締め付けます。取付後、ドライブシャフトがABSセンサーブラケットに干渉しないか、異音が発生していないか確認します。



左リア写真



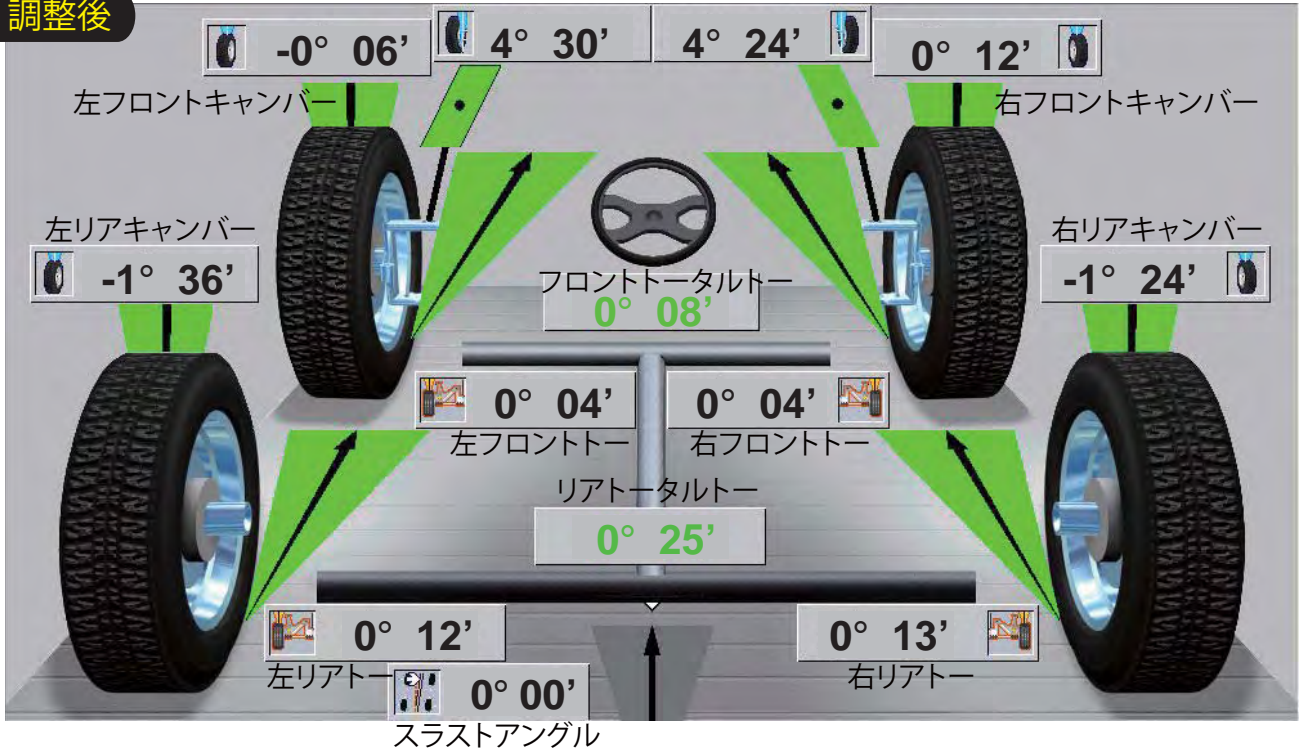


## John Bean V3Dによるノートのホイールアライメント測定結果

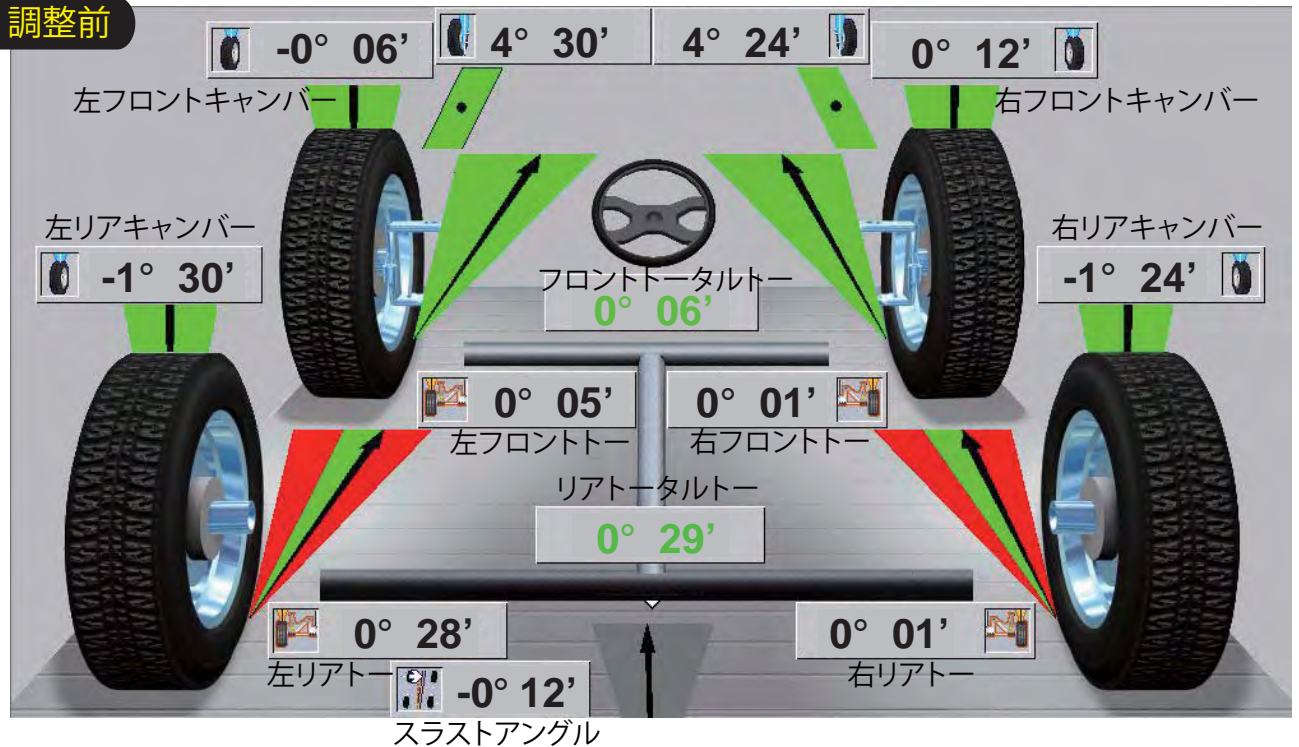
左リアトー+28'-15'=13'、右リアトー+1'+15'=16'と計算通りにはならず、誤差が発生していますが基準値に近づけることができました。最後にフロントトーを調整します。

今回は使用しませんが、フロントキャンバー調整にはSPC #81250 EZカムXR12mmが適合します。

### 調整後



### 調整前



これらのアライメント調整パーツの購入、業販を希望される方、  
 代理店やアライメントショップをお探しの方は弊社Webサイトへ  
<http://www.amtecs.co.jp/shop/>